

マテリアリティ(重要課題)

2023年12月20日

はじめに

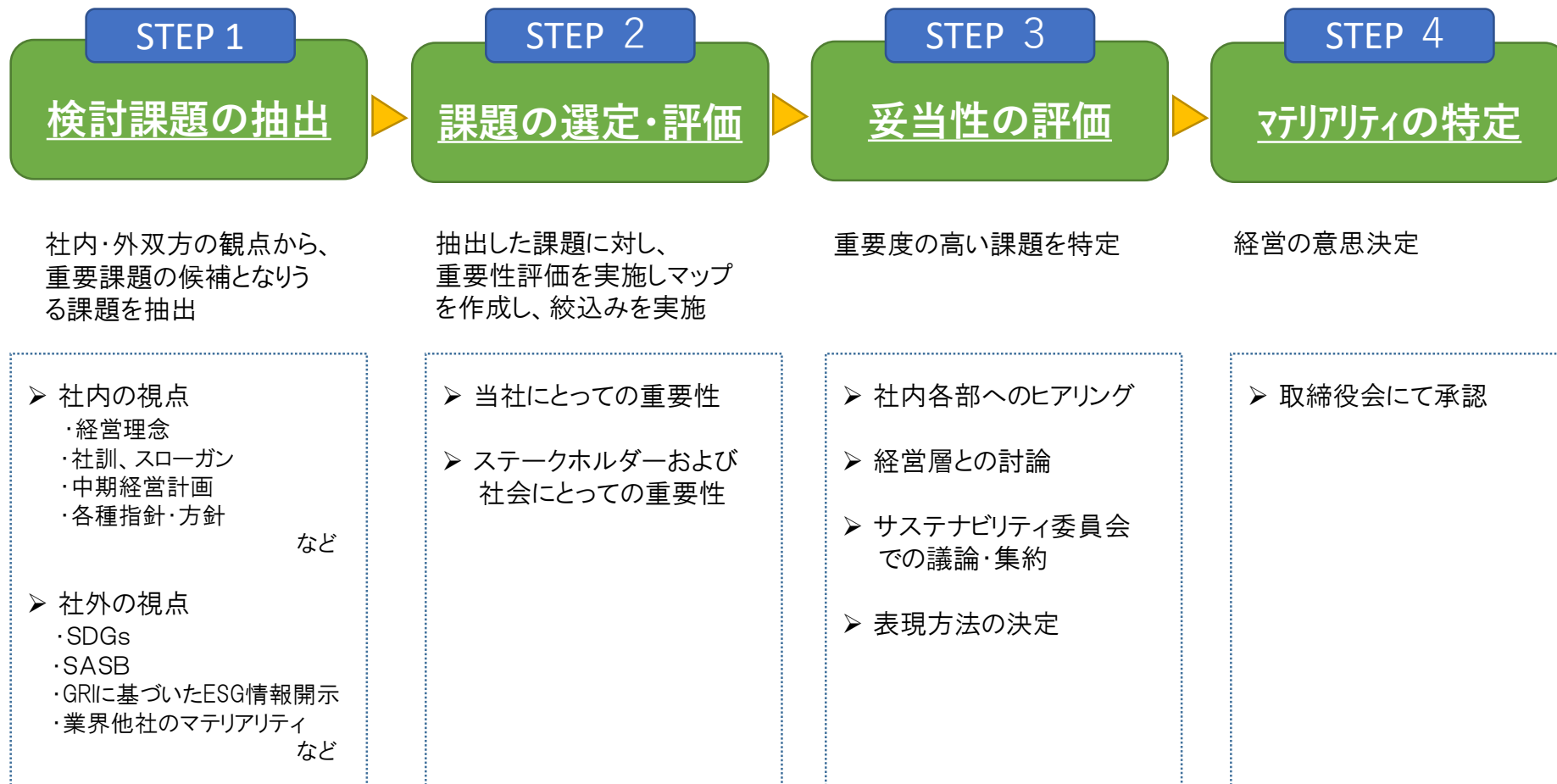
持続可能な社会の実現と持続的な企業の成長にむけて、当社の経営や社内にとっての重要度の視点から取り組むべき優先課題を選定し、重要性や影響度よりマテリアリティ（重要課題）を特定しました。

当社が取り組むべきマテリアリティは後述のとおりです。当社は、サステナビリティ委員会を中心に、それぞれのマテリアリティについてのレビュー、対応策や計画の策定を含め活動を進めてまいります。

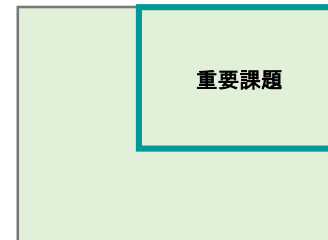
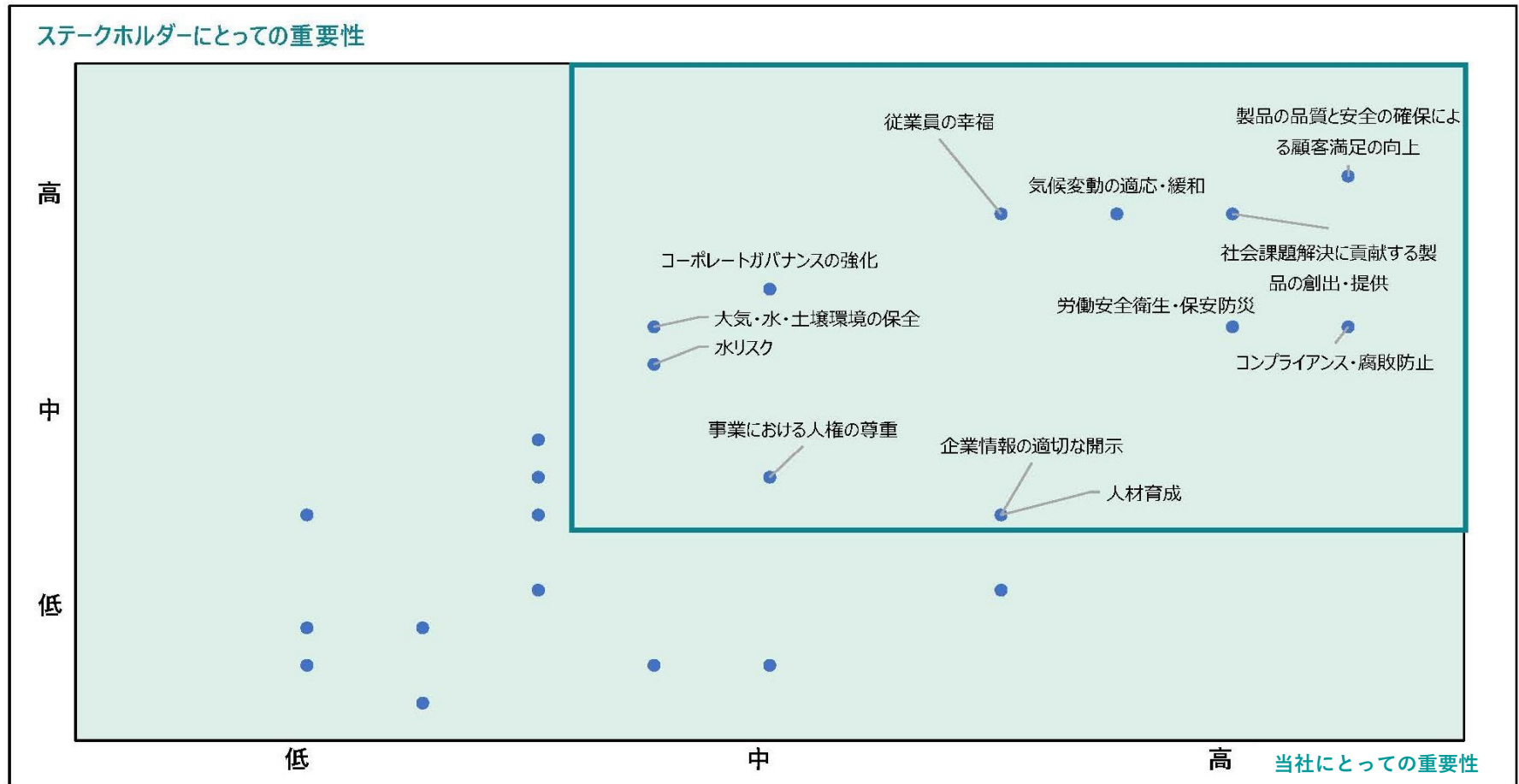


1. 特定プロセス

当社ではマテリアリティの特定にあたり、企業理念および中長期ビジョン、各種指針・方針を起点に社会課題の抽出を行い、ステークホルダーの皆様および当社双方にとっての重要性の観点から、ターゲットとなるマテリアリティを抽出しました。



2. マテリアリティマップ






3. マテリアリティ(重要課題)の詳細 I

マテリアリティ	テーマ / 関連するSDGs	目指す姿	KPI	目標水準
事業を通じた貢献	社会課題解決に貢献する製品の創出・提供 	社会課題解決に貢献する次世代研究開発テーマに独創的視点で取り組み、培った独自技術を生かした新製品が提供できている状態	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 投資額 12億円 ✓ 次世代材料開発の推進 ✓ 新規開発品リリース 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 濃縮ホウ酸生産設備の整備および改良 ✓ フッ化スズ増産 ✓ 半導体製造工程の改善につながる薬液 ✓ LiB電池の高性能化に寄与する材料 ✓ 無機フッ素化合物またはフッ素技術を用いた製品
	製品の品質と安全の確保による顧客満足度の向上 	顧客のニーズを捉え高品質かつ安全性に配慮した製品を安定供給することにより顧客満足度が向上している状態	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 顧客満足度(品質) ✓ 顧客での安全講習会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2024年 大手顧客上位20位の顧客満足度を年間平均最高評価率50%以上 ✓ 顧客からの要求による安全講習会開催100%対応
気候変動への対応と環境保全	気候変動の適応・緩和 	2050年カーボンニュートラルが達成できている状態	<ul style="list-style-type: none"> ✓ Scope1.2排出量を削減 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2013年度比で2030年度排出量を46%削減
	大気・水・土壌環境の保全 	事業から排出される化学物質を管理・低減させ、自然環境への負荷を軽減できている状態	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 大気・水・土壌汚染の防止に関する法令基準値厳守 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 法令基準値の超過ゼロを継続
	水リスクへの対応 	効率的な水利用を行い、排出する水質の向上を図り水リスクを低減している状態	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 取水量の削減 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 主要事業所3工場の水取水量を2017年度比で10%削減

3. マテリアリティ(重要課題)の詳細 II

マテリアリティ	テーマ / 関連するSDGs	目指す姿	KPI	目標水準
働きがいのある 安全な環境の構築	従業員のWell-being 	従業員のワークライフバランスが実現され、働き甲斐を感じている状態	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 有給休暇取得率 ✓ 育児休業取得率 ✓ 再雇用率 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 有給取得率80%以上を維持 ✓ 男性育児休業取得率50%以上 ✓ 定年退職後の再雇用は、現行の高水準(80%以上)を維持
	人的資本の強化 	研修や資格取得により、従業員の仕事に対する意識や知識、技術が向上している状態	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 研修 ✓ 平均年間給与(男女) 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 社外研修・講習、資格講習、社内研修の計画的な受講 ✓ 基本給・賞与合計の男女賃金差異90%以上を維持(正規雇用・男性を100%とした場合)
	労働安全衛生・保安防災 	従業員が安全かつ健康で働ける状態	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 労働災害度数率 ✓ 強度率 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 【度数率1.25】 ✓ 【強度率0.08】
人権の尊重	事業における人権の尊重 	サプライヤーを含め、人種、性別、民族、国籍等の事由による不当な差別をせず、人権を尊重し事業を実施できている状態	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 差別・ハラスメント防止の取組の実施 ✓ 人権方針の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 差別・ハラスメント防止、人権に関する定性的な取り組みを進めていく。 ✓ 人権方針の策定・公開

3. マテリアリティ(重要課題)の詳細 Ⅲ

マテリアリティ	テーマ / 関連するSDGs	目指す姿	KPI	目標水準
企業価値を高める ガバナンスの強化	コンプライアンス・腐敗防止 	従業員がコンプライアンス・関連法規を認識・遵守できている状態	✓ コンプライアンス違反件数	✓ コンプライアンス重大違反件数:0件
	コーポレートガバナンスの強化 	迅速に経営意思決定が実施され経営の健全性が確保されている状態	✓ コーポレートガバナンス強化に関する定性的な取組	✓ 取締役会の実効性評価(第三者評価) ✓ 社外取締役選定基準の明確化 ✓ 情報セキュリティ重大事故件数:0件
	企業情報の適切な開示 	ステークホルダーに対し、迅速かつ正確に期待される情報を開示している状態	✓ 情報の適切な開示	✓ 日英同日同時開示 ✓ サステナビリティ情報の開示